

議会だより

かたしな

No. 122 平成21年 11月20日発行

平成21年度
第2回尾瀬文学賞表彰式



PHOTO

11月8日開催された第2回尾瀬文学賞俳句大会表彰式

主な内容

平成20年度決算認定・監査委員の審査意見	2~3
9月定例議会で決めたこと	4~7
村政を問う 3名が一般質問	8~9
委員会行政視察	10~11
議会活動日誌・編集後記	12

片品村議会は、9月8日から17日までの会期で第8回定例会を開催しました。条例関係、物件売買契約、20年度決算、21年度補正予算などが提案され、いずれも原案どおり議決しました。

平成20年度一般会計及び7特別会計の決算を認定 一般会計

歳入決算額 38億5985万円
歳出決算額 36億9696万円

翌年度繰越額 1億6290万円 (内、基金繰入れ7300万円)

年度末村債(借入金)現在高 **28億7797万円**
(前年比1億7400万円減)

年度末基金(預金)残高 **9億7433万円**
(前年比3億238万円増)

特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入決算額		歳出決算額	翌年度繰越額	基金繰入額
		内、一般会計から繰入・補助			
国民健康保険	801,158	64,688	788,901	6,057	6,200
老人保健	107,247	0	54,733	52,514	0
簡易水道事業	119,500	29,477	114,099	5,402	0
介護保険	345,122	56,514	333,326	11,796	0
下水道事業等	272,993	108,655	265,637	7,356	0
後期高齢者医療	44,635	19,603	44,049	586	0
合計	1,690,655	278,937	1,600,745	83,711	6,200

観光施設事業	収入		支出	利益	利益剰余金へ
		内、一般会計からの補助金			
収益的収入・支出	203,058	148,200	191,603	11,455	11,455
資本的収入・支出	20,000	20,000	98,768	0	0

*資本的収入・支出は他会計借入金、企業債の償還のためで、支出の不足分を留保資金より7876.8万円補填した。

(単位：円)

	年度末村債他(借入金)現在高	年度末基金(預金)現在高
国民健康保険		5,780,000
簡易水道事業	255,742,673	20,800,000
介護保険		30,179,768
下水道事業等	690,412,126	
合計	946,154,799	56,759,768

(単位：円)

	年度末企業債他(借入金)現在高	留保資産
観光施設事業	657,170,750	107,109,613

監査委員の審査意見

- 財政の健全化比率は大変良好で健全な財政である。
- 財政の厳しい中、道路整備等村づくりの基礎となる事業の推進、下水道等生活基盤の整備など、村民の福祉向上に貢献した。
- 村税、公共料金は村を支える礎であり、滞納、収入未済額を許すことは地域住民間に不公平を黙認する結果となる。
住民間の公平と財源の確保に努めて欲しい。



9月議会の様子

【財政の健全化判断比率等の報告】

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債比率	将来負担比率
H20年度	-(赤字0)	-(赤字0)	11.5	39.8
早期健全化基準	15	20	25	350

*1つでも健全化基準値を超えると、自主的に財政健全化を図る早期健全化団体に指定される。

平成20年度 継続費精算報告

まちづくり交付金事業に係る継続費
2億1865万円を支出し事業が完了
した。



まちづくり交付金事業により完成した尾瀬ぶらり館

平成21年度9月補正

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計	3,618,717	180,874	3,799,591
国民健康保険	777,977	2,888	780,865
老人保健	778	52,014	52,792
簡易水道事業	106,172	4,401	110,573
介護保険	342,398	9,286	351,684
下水道事業等	137,653	6,356	144,009
後期高齢者医療	51,591	201	51,792

主な一般会計補正

- ・地方交付税が5879万円増額
- ・国庫補助金1億640万円の交付(上出、戸倉地区光ファイバー工事費)
- ・ふるさと雇用再生特別基金事業補助金1032万円の交付(H23年度まで5名の臨時雇用、観光片品の振興対策として)

請願陳情審査結果一覧表

9月定例会において審議された請願陳情は、下記のとおり決定しました。

陳情

受理年月日	件名	陳情者	審議結果
平成21年 6月30日	核も戦争もない平和な21世紀を築くための2009年非核平和行進要請書	2009年非核平和行進群馬県実行委員会代表 猪上輝雄外7名	議員配布
平成21年 8月19日	国民の「安心・安全」を切り捨て「地方分権」「道州制」をやめ、関東地方整備局の事務所・出張所の存続を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合関東地方本部群馬県協議会 議長 山口勝巳	議員配布

◎片品村国民健康保険
条例の一部改正
(全員賛成)

出産育児一時金35万円
から39万円にする
(全員賛成)

◎群馬県市町村会館管
理組合の規約変更
(全員賛成)

市町村合併により、規約
中の「吉井町、上野村」を
「上野村」に変更
(全員賛成)

◎利根沼田広域市町村
圏振興整備組合が共
同処理する事務の変
更(農業共済事務の
廃止)及び同組合の
規約変更
(全員賛成)

県下全域を一組合の事
業区域とする群馬県農業
共済組合が設立されるこ
とに伴う規約変更
(全員賛成)

◎利根沼田広域市町村
圏振興整備組合が共
同処理する事務の廃
止に伴う財産処分の
協議
(全員賛成)

同組合の農業共済事業
に係る平成22年3月31日
現在の積立金等の財産を
承継団体である群馬県農

業共済組合に帰属させる
こと
(全員賛成)

◎物件売買契約の締結
(全員賛成)

* 契約の目的

* 防災行政無線戸別受信
機購入

* 品名数量

* 個別受信機1,900台

* 契約の方法

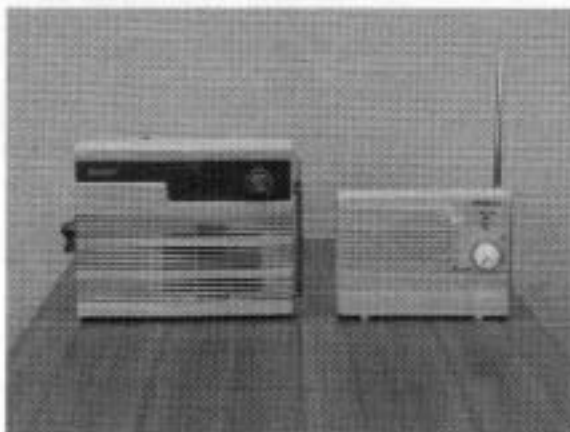
随意契約

* 契約金額

5,586万円

* 契約の相手方

株式会社 日立国際電気



新旧防災無線受信機

前号(121号)で
の副議長就任あいさつ
文に誤りがありました
ので、次のとおり差し
替えます。

副議長 大竹 文夫

議員に初当選してか
ら2年、私は一議員と
して村民の目線で村行
政を見つめ、村民のた
めの村政を追求してき
ました。

村執行部と並んで、
村民を代表する二元代
表制の中で議会が果た
す役割は一層重要とな
っています。

これからは、副議長
として入澤議長を補佐
し、議員相互の意思疎
通を密にしていきたい
と考えます。

私は行政経験は全く
ありませんが、村民の
皆様の協力をお願いし
つつ、職責を全うする
決意です。

こんな質疑がありました

〔平成20年度一般会計決算認定について〕

問 (萩原日郎議員)

各区配付の液晶テレビ167万2、300円の金額の納入業者名及びその代表者名をお聞きしたい。

答 (むら観光課長)

(有)吉野電気商会代表取締役吉野勲です。

問 (萩原日郎議員)

これは、地方自治法92条の2によるところの、規定違反と思われるが、村長の考えを聞きたい。

答 (総務課長)

自治法の規定の請負契約でなく、物品の購入として捉えており法には、抵触しないとの解釈です。

問 (大竹文夫議員)

固定資産税の未収金、未納金について3点お聞きしたい。

評価の再申請の趣旨と評価委員会の決定はどの様なことか。

また、未収金への村としての対応と村長としての今後の対応をどうされるのか。

答 (村長)

村内雇用や、村内産業の振興の上での貢献もあり、できる協力はさせていきたい。

また、税に対する不公平感、公平感の問題もあり慎重に対応させていただく。

答 (住民課長)

当該事業者より評価委員会への再評価の申し出は、地方税法403条の1の規定により決定したもので、合理的な理由で申し出を棄却した。

本年7月期までの滞納額は、1億円ほどあり、今後は、分納誓約や納税交渉を積極的に進め、総力をあげ取り組む所存です。

〔平成20年度国民健康保険特別会計決算認定について〕

問 (大竹文夫議員)

未納者への資格証明書、短期保険証の交付状況はどのようになっているのか、人数も含めお答えいただきたい。

答 (保健福祉課長)

資格証明書の交付については、滞納相談や納税の意志のない方に交付しています。

分納誓約書や納付状況の程度により、短期保険証の交付や被保険者証の交付をしています。

人数については、後ほど資料により答えさせていただきます。



利根郡町村議員研修の様子 (川場村 11月4～5日)

緊急質問

萩原日郎議員から、緊急質問の申し出があった。

「村長に産業廃棄物の不法投棄疑惑が過去あった」という告発文が届いている件で、事実かどうか聞きたいという内容であった。

議会にはかったが賛成少数により許可されませんでした。

(賛成 六)
(反対 七)

〔平成21年度一般会計補正予算について〕

〔星野侃三議員〕

教育振興費のうち50万円ほどの図書代寄付は誰がしたのか。

〔教育次長〕

ふるさと納税で花咲出身であります。星野徳夫様、奥様がされたものです。

〔高橋正治議員〕

総務費の財産管理費、委託料は解体廃棄物等を間違いなく安全に処理するための費用であるのか。

また、関連ですが、村長就任以前のことで「産業廃棄物の有害物質を近くの土地に埋め合法に処理されていない」との怪文書が最近でている。

単なる中傷文書であれば大変失礼なことで、村長としてきちんと事実を説明することが責務と思いますが、また、今後の対応についての考えも説明ください。

〔村長〕

委託料は、廃棄物を間違いなく処分するた

めに計上した。怪文書の件については、事実関係を説明します。

〔協力の〕

工場として、今から28、30年位前にポタンの磨きの仕事を始めた。

26、27年前に白い液体が流れているとの通報で保健所が調査に来たが、これは「関西方面よりくる磨き砂で、届出の必要がない物である」と保健所職員から聞いた。従って魚が死んだ原因とは無関係です。

また、利根沼田環境オンブズマンの文書の中の有害物質・不法投棄と指摘されている物質はプラスチックポタンの欠片や削りカスであり、有害物質ではない。

投棄の場合は、その時代の法律で、その程度の量までは無許可でいい、つまり届け出のいらないうところがあり、自分の土地に捨てたその程度の量は全く問題とならないので、不法投棄に該当しない。しかし、村長としての立場上、適正に処置

するのが望ましいので、既に沼田の業者にそれを依頼してある。

〔星野育雄議員〕

観光振興への委託料ですが、観光協会へ2名、片品農協へ3名の臨時職員の雇用費用の6ヶ月分が計上されておりますが、農協の合併後も継続される事業なのかうかがいたい。

〔むら観光課長〕

平成21年度をもって農協は合併すると聞き及んでいます。観光部は、存続していただけるよう望んでいます。



職員増員となった観光協会事務局

〔星野育雄議員〕
合併協定書のなかには、その様な文言は記されていないが。

〔村長〕

合併の調印書をご覧になったということか
〔提出議案があり、その中に文言は入っていない。〕

〔村長〕

合併したとしても、強力な応援態勢を考えている。

〔萩原一志議員〕

合併後、村の雇用対策予算が、JA利根沼田管内への補助との考えになるが、その時は引き上げるのか、或いは他の市町村とも合わせ行うのか。

〔村長〕

この予算は、国からのもので3年間継続というものでもありません。今後、村にプラスになるよう適切に判断していきたい。

〔萩原一志議員〕
片品村にプラスにならないということはないと考えます。

農協観光部の3名を専属で配置できるか、或いは観光協会へ振り分けできるような考えは、村長にあるのか、お聞きしたい。

〔村長〕

JA利根沼田と合併した場合の事業に従事



中央公民館図書室内部

することだが、片品村によりプラスになるよう考える。

マイナスの方向であれば、次の方向性を探ることになる。

〔高橋正治議員〕

事業の性格上、雇用創出の目的であると思

〔むら観光課長〕

そのとおりです。

発議第1号 産業廃棄物を適正に処理することを宣言する決議

提出者 萩原日郎

賛成者 星野侃三

賛成少数により否決

(賛成 六)
(反対 七)

発議第1号 産業廃棄物を適正処理すること宣言する決議に対する質疑

問 (飯塚美明議員)

「しかし、残念なことに」から「各区長・組長を中心に適正処理に取り組んでいただいている現状であります。」という文面は、産業廃棄物ではなくて一般廃棄物についての説明ではないでしょうか。

答 (萩原日郎議員)

一般廃棄物は、おおよそ家庭のごみ類と考えられます。

農業用マルチや使われた貸しスキ、あるいは機械類も含まれると思います。一般に産業廃棄物と呼ばれるのではないかと。

問 (飯塚美明議員)

区長・組長を中心に、廃棄物の収集をしているという部分は、産業廃棄物には当たらないと考える。

文章では一般廃棄物の説明があり、産業廃棄物を適正に処理する宣言になっている。

大変分かりづらい。どうでしょうか。

答 (萩原日郎議員)

私は、廃棄物の分類をこまかくしようとしているものではなく、村全体をきれいにしてい、村民に意識を高めていただくこと、私自身もそういう気持ちを持ち続けていくことを目的として、これを提出しました。

問 (高橋正治議員)

廃棄物処理法に基づいて平成3年に制定された、それ以後片品村においては、皆様のご協力をいただき、適切に処理をしているという

ことを、提案者ご存じですか。

片品村の各地区あるいは当局においても、それらの指導によって、適切に処理をしているというところは、ご存じですか。

答 (萩原日郎議員)

努めて村は、適切に処理していると思えます。捨てられていた物が、何時捨てられた物であるか誰が捨てた物であるかは、判明しにくいものであり、最も大事なものは、村民が意識をしつかりと持つことだと思います。

問 (大竹文夫議員)

「さらに近年では名水の里」云々というのが、ちよっと抜けていたような感じがしますが、これはこのままだと、いいことではないでしょうか。

答 (萩原日郎議員)

この文面について、こだわりのものはありません。修正していただいて結構です。私の案として出させて不

満とか不足であるとかそういうことであれば、それなりの対処をお願いしたい。

問 (飯塚美明議員)

決議の感想ですが、過去あるかのような産業廃棄物の不正処理を、これからは適正処理するというような宣言と取られがち。片品村にとりまして、これはイメージダウンにつながるのではないかと、その辺を疑問に思っています。もう少し検討して、議員全員賛成で提案できればと考えております。

答 (萩原日郎議員)

片品村に過去にも産業廃棄物の不法投棄があったかのように受け取られるというふうな言われまして、これども、極めて残念なことにも多々あった。

だからこそ村を挙げてきれいにしようとして取り組んでいるところだと、それを更に深めようとして、提案させていただいた。

発議第1号 産業廃棄物を適正処理することを宣言する決議に対する討論

反対討論

(大竹文夫議員)

議員として論議をして原案を煮詰め最低の行動計画を提起する。あるいは、村に対して要求するという決議文にすることが、私は必要ではないかと、ここで採決するとすれば、反対。

賛成討論

(笠原耕作議員)

村においても各区長さん組長さんを始め、毎年のごとく過去の投棄物の処理を行っていきます。

村長自ら過去における自己投棄物も業者処理を行うとのことですが、村として宣言を出し、社会に知らしめるということが、非常に大事。この決議宣言に賛成。

反対討論

(飯塚美明議員)

過去には環境の規制の網がかぶされていないから、マルチ等の産業廃棄物が捨ててあったという事実はあったかも知れませんが、現在罰則規定もあり、そのようなことは片品村においてない。片品村に産業廃棄物がいつばい捨てられているようなそんな印象の中で、宣言を出すことは、片品村のイメージダウンにつながる。反対。

賛成討論

(萩原一志議員)

文面の差し替え等は、全員協議会等で、また委員会等でされることはあるかもしれませんが、今議会において決議をするということに、賛成。

村政を問う 3名が一般質問

吉野 勲議員



村政への考え方 及び展望について

問 自主自立を選択した本村だが過疎化や少子高齢化による問題の解決が急務だ。いろいろな実績も重ねてきた中で、村長はこれからの村づくりで3点ほどの抱負を掲げているがどのようなことか。
村長選挙に近いが立候補するのか。

吉野 (村長)

私は「村を愛する」を基本姿勢とし、「村に生きる・村を活かす」を信条として村づくりにあたりたいと考えている。

「経済活力のある村へ」尾瀬国立公園の誕生や尾瀬の郷親善大使の取り組みで片品村の知名度がアップしている。上尾市や巖市との親交に努め誘客を更に進めるべくトップセールスとして頑張りたい。「夢や希望の持てる村へ」椎坂トンネルの本体工事が始まる。重要な交通インフラの利便性が大幅に向上し、企業誘致の武器にもなる。平成の名水百選となつた片品村の湧水を利用した水工場にも進出していただいたが、片品村の自然を活かした

企業誘致にこれからも努力したい。

情報インフラの光ファイバーの整備も全村的にやっつけていきたい。「村民皆が元気で安心して暮らせる村へ」この4年間で村の財政状況は大きく改善した。

しかし自主自立のために更なる財政基盤の強化は必要不可欠だ。その上で村民にはできる限りの低負担・高福祉ということを考えている。

更には、学童保育や放課後子供教室等の子育て支援や、生活環境や健康支援、高齢化対策などへ積極的に取り組んでいきたい。

立候補については抱負で申し上げたとおり向こう4年間の村政への負託を村民の審判に委ねたいと考えている。

問 片品村の現況は依然として厳しいがこんなときこそ村民は優れたいリーダーシップを求めている。
村当局にも更なる村の改革と発展にご尽力をお願いしたい。



椎坂2号トンネル白沢町側



椎坂2号トンネル工事着工式



老朽化が進む中央公民館

萩原 日郎議員



社協事務所と社協の態勢について

問 老朽化と耐震強度不足の不安を抱えている建物に替わって社会福祉協議会、教育委員会等の事務所を移す予定だった戸倉ダム建設所の無償譲渡をことわって4年が経過していますが、いまだにこれにかわる対応が考えられていないようだがどうなのか。

答 現在広さについては問題ないと思っておりますが内部で検討しています。

問 本年度までとして事業の継続を行ってもらうために出している補助金と社協の態勢について早急に協議を進めて利用者には不安を与えないように配慮していただきたい。

答 早速、担当職員に指示をさせます。

星野 育雄 議員



千明村政の政権
公約の達成度と
政治姿勢を問う



桜花苑

問 村長は、4年前の出馬に際して、マニフェスト政権公約を5項目、また信念・政治理念を3項目掲げて当選しました。五つの政権公約の達成度、三つの政治理念の実行度をお聞きしたい。

答 五つの公約の達成度は、「自然を生かした地域産業の振興」では、農協や観光協会と連携を取りながら農産物の販路拡大に努めた。東小川に水工場が新設された。環境省の平成名水百選に選定された。

「子育ての安心とゆとりある老後」では、医療費の無料化を中学校卒業まで拡大及び児童手当支給の拡充をした。出産祝い金制度を創設し第3子から30万円を支給するようにした。介護保険福祉事業で地域包括支援センターを新設し、居宅介護の要支援者のケアマネジメントサービス、総合相談事業を始めた。「行財政改革を更に進める」では、機構改革を行い7課を5課に削

減した。

民間委託では、3つの施設の管理を指定管理者に委託した。定員管理の適正化では、4年間で16人削減した。

「村民とともに進める活力ある村づくり」では、行財政改革懇話会、尾瀬ブランド委員会、公共交通政策検討委員会、尾瀬の郷親善大使を立ち上げた。

「三つの政治理念の実行度」では、説明責任で情報公開に努めた。清廉潔白、公正・ガラス張りの村政につとめた。

問 高齢化率が30%に近づきつつある現在、高齢者対策として、介護老人保健施設の拡充・増設が必要だと提言してきたが、この問題を今後どのように解決していく考えなのか。

答 この関係は利根沼川広域圏で取り組んでいる。

問 行財政改革を更に進めるために常勤特別職（村長、副村長、教育長）の報酬削減の意志はないのか。

答 常勤特別職の報酬を削減する意志は無い。

問 村の貯金である基金総額は4年前と変わらないので貯金が増えたのではありませんか。4億円以上あった土地開発基金を廃止して全額、財政調整基金に繰り入れたために増えたものと考えますがいかがですか。

答 財政調整基金を6億5千万円増額したのは事実です。

問 三つの政治理念の実行度の説明責任のなかに、村民の目線で村民と共に意思疎通のできた風通しの良い村政をつくるとあるが、現実には村民の代弁者である村議会議員の議会内の声にも耳を傾けることも少ないと感じます。いかがですか。

答 私は常に村民の目線で村政運営をしてきた。

問 星野賢二前村長が水資源開発機構の戸倉ダム建設事務所を土地付きで村でもらい受け、村の庁舎として有効利用する約束をしていたのに、村長就任直後に議会にも相談しないで独断で断った事実は公正・透明・ガラス張りの村政とは言えないのではないかと。

答 無駄な施設をもらうことは維持管理費がかかるので断った。



企業誘致した(株)ニチネンの水工場

報 告

観光産業常任委員会

■視察の期日

平成21年10月1日

■視察の場所

長野県小川村

(株)小川の庄おやき村

■視察の目的

1、(株)小川の庄設立からの経緯について

2、小川の庄の五つの目標について

- ① 一集落一品づく
- ② 60歳入社、定年なし
- ③ 若者に夢のある職場づくり
- ④ 製造・販売の直売方式
- ⑤ 明るく楽しく元気良く

■視察の概要

人口約3200人の小規模自治体ながら、創意工夫と努力により、活気のある小川村に注目した。

その象徴的存在が(株)小川の庄おやき村だ。おやき村の中心(本店)



おやき村での記念写真

は、標高570メートルの山地にあり、その上り下りは、道路が狭いため、マイクロボスだと至難の業だった。おやきづくりの実演を見、おやき村村長・権田近芳氏からは小川の庄の歴史と現状の説明を受けた。「縄文おやき」や「田舎会席」を賞味することで、舌でもその成功の秘密に迫る機会となった。

■視察の結果

(株)小川の庄おやき村は、昭和61年、行政・農協・小川村民協力の



おやきの実演

三セクターとして創業された。以後、株式会社となり、80数人を雇用する年商8億円の企業となった。店舗は、長野市の善光寺や長野駅付近や松本市にもある。創業以来の生き証人である権田氏(85歳)から25年間の苦労話と企業マインドを聞くことができた。

年寄り社員が元気で、前面に出ているのが驚きだった。特大のホウロクでおやきを焼く実演付き販売も奏功しているようだ。

なぜこんな山中に…

下の通り付近が良いのでは…との声に対して、権田氏は「『ああ怖かった』と(たどり着いた)お客さんは言う。この命がけで来ることに価値がある」と言い切り、交通不便さを逆手に取った経営方針のようだ。

本店所在地は、縄文おやきの名称が縄文時代に「おやきを食った痕跡が近くにあること」に由来する。おやきや山菜の加工場は交通の便のよい場所にある。経営陣は、危機感を緩めないでいる。「今まで通りではだめ。改革をしてゆかないと…」

(権田氏)との表現にみられるように、顧客マインドを見逃さないよう、具など工夫や新商品の開発など、不断の努力を惜しまないようだ。インターネット活用による販路拡大にも努めている。山菜などの具材は極力地元調達とするなど、地域貢献が企業方針のようだ。

片品村が学ばべきこと

- ① 交通の不便さは、必ずしもマイナスではなく、プラス効果もある。
- ② おやきという普及品でも、企業努力で大成功できるという。
- ③ 縄文おやきのように、商品イメージには物語やロマンが必要である。
- ④ 豊かな自然環境とその素材を生かした加工品こそ推進すべきこと。

なお、前日の栄村訪問では、デマンドパスの現状と将来性を副村長など村幹部から聞くことができ、これまた有意義な行政視察であった。
(委員長 戸丸 廣安記)

行政視

総務文教常任委員会

■視察の期日
平成21年9月30日

■視察の場所
長野県栄村

■視察の目的

- ・下駄ばきヘルパー
- ・絵手紙列車
- ・田直し道直し
- ・雪おろし

などユニークな栄村の取り組みについて



栄村視察

■視察の概要
栄村は長野県ですが片品からは、高速道路開通を新潟に抜けて石打インターより新潟県の津南町を通っていきます。

栄村の秋山郷などは、新潟県津南町にて村の中心地に行く地形は片品に少し似ています。また片品と違



栄村役場で説明を受ける

うところはJRが走っていない、7m以上も雪が降ったこともある日本有数の豪雪地です。人口は2300人、くらの小さな村ですが、村独自の雪害対策事業を実施している村です。

■視察の結果

日本では有数の豪雪地栄村の下駄ばきヘルパーという福祉の取り組みについて下駄をはいて真夜中でも駆けつけられる、ということから名前をつけたようです。約2300人の村に有資格者が約180人登録されています。

住民による安心ネットが高齢者が住み慣れた村で暮らせるように目指しています。

片品でいえば、村はその区にお金を出し自分たちで考えて領収書も特に要らない、持ってきても持つてこなくていい、その金を何につかってもいい、この発想は住民が頭を使って何かを考えて使うというどこにもない発想だと思った。

(委員長 星野 侃三記)

檜枝岐村議会との交流会

9月1日檜枝岐村議会との交流会が行われ、次のような意見ができました。

◎国道401号線改良整備促進について
「福島県・群馬県間の未供用区間の路線の早期選定」

- ・檜枝岐村側・実川林道を高八掛山の下まで現地調査をした。
- ・その先は岩で急峻な山となつているのでトンネルでなければ道はできない。
- ・檜枝岐村と片品村を結ぶ送電線沿いに道をつくるのが一番近い。
- ・片品村側・大清水から奥鬼怒林道の中ノ岐沿いに進み、小沢(二ゴリ沢)沿いの林道の終点まで進んでからトンネルに入る。
- ・国道401号線改良整備のためには政権政党の力を借りなければならぬ。幸いにも国道401号線

整備促進期成同盟会長は民主党最高顧問の渡部恒三代議士なので期待が持てるのではないか。

◎両村の観光の取り組みと現状について

- ・尾瀬サミットで一ノ瀬及び富士見峠まで電気自動車を走らせることを国は今後検討することになった。
- ・片品村・檜枝岐村・魚沼市の3市村長と尾瀬林業社長で今年の秋にはエコツーリズム促進協議会を立ち上げる。
- ・両村長で両県及び国に陳情活動を続ける。
- ・尾瀬の植物を鹿の食害から守るには鹿よ



檜枝岐村議会との交流会議

けネットを大清水まで張ったほうが良い。今年の檜枝岐村からの入山者数は、御池駐車場の観光バスは前年より30%少ない。シャトルバスの利用者も55%落ちている。片品村の観光客は年間230万人だった。1/2割は尾瀬の入山者です。

スキー客は少なくなっているが夏のスポーツ合宿や小中学生の山村体験合宿等のお客は増えている。

片品村から入る尾瀬入山者は日帰り客が多い。檜枝岐村も同じです。

会津街道(南会津町)七入↓沼山峠↓尾瀬沼↓尾瀬ヶ原↓鳩待峠・富士見峠・大清水↓沼田市)を通って尾瀬の入山者が回れるようになると良い。

遠方からの誘客ができれば、宿泊客が増えるのではないか。

● 第7回
臨時議会開催

■ 平成21年8月4日

物品売買契約の締結

契約の目的

ロータリ除雪車購入1台

契約の方法

指名競争入札

契約金額

24,628,800円

契約の相手方

コマツ建機販売(株)

新潟カンパニー

物品売買契約の締結

契約の目的

除雪車購入 2台

契約の方法

指名競争入札

契約金額

31,248,000円

契約の相手方

コマツ建機販売(株)

新潟カンパニー

議会活動日誌

9月					
1~2	榑枝岐村議会との交流会	25	北保育園運動会	7	敬老会
8	シラネアオイを守る会 種子採取	"	片品村社会福祉大会	11	第12回群馬県緊急消防 援助隊合同訓練
"	第8回定例会(開会)	26~27	藤沢市民まつり	13	広域圏議員協議会
"	決算説明	26	南保育園運動会	"	ウインターリゾート 情報交換会
9	決算説明	28	慶祝訪問	14~16	利根郡議長会 県外視察研修(高知県)
10	補正予算説明会	30~10・1	行政視察 長野県栄村・小川村	18	片品大白祭
12	村内各小学校運動会	10月		23	県民体育大会 利根郡選手団結団式
15	総務文教常任委員会	2	片品保育園運動会	30	群馬県町村議員研修会
"	観光産業常任委員会	"	利根招魂祭	31	日光市そばまつり
"	知的障害者福祉 月間パレード	3	全国地域安全運動 利根沼田地区大会	11月	
17	第8回定例会(閉会)	4	昭和の秋まつり	4~5	利根郡町村議会議員 ・事務局長研修
18	片品中学校体育祭	"	消防団秋季点検	6	議会広報研修会
20	村民運動会	6	国道401号期成同盟総会		
24	小口資金融資審査会	"	利根郡遺族会研修会		
"	婦人会OG会		懇親会		

お知らせ

次回定例会
12月4日(金)~10日(木)の予定です。
一般質問は、4日の予定です。

みなさんの傍聴を
お待ちしております。
問い合わせ
TEL 58-2119

議会だより・会議録がホームページで見られます。
URL: <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

編集後記

平成21年11月13日より
始まる4年間、千明村長
の統投が決まりました。
村民が託す「村づくり」
に十分応えていただけま
すよう期待しています。
9月は決算の記事が多
く、今までの10ページで
は間に合わず、12ページ
の構成となりました。
そのため、費用の関係
で表紙カラーが2色刷り
となりました。
皆様に読みやすく、判
りやすい記事作りを目指
しましたので、ご理解く
ださい。

〔飯塚 美明記〕

発行 片品村議会
発行責任者 入澤 登喜夫
編集委員 飯塚 美明
○ 戸丸 廣安
○ 萩原 日郎
星野 育雄
星野 侃三
笠原 耕作
印刷所 笠原印刷有限公司